



対人援助研修への取り組み



副院長

ふたむら あきひろ

二村 明広

(腎臓内科専門医)

医療の現場は苦しみに溢れています。治療困難ながんや難病などの生命を脅かす病気の患者に対して、私達はどんな言葉をかければ良いのか、頭を悩ませています。疾病治療や症状緩和、説明、励ましでは、対処できない深い苦しみに直面するからです。さらに現場スタッフは日々業務に追われ、様々なストレス・葛藤をかかえており、仕事の意味を見失い、燃え尽き、離職してゆく医療職の多いことが医療界の課題になっています。

そこで、当院では、患者も職員も共に笑顔溢れる病院を目指し、2年前より、傾聴塾の創始者で、スピリチュアルケア研修、スーパーバイザー研修の第一人者である村田久行先生を講師に招いて、対人援助研修を開始しました。集中的なグループ研修と、全職員対象のセミナーを定期的に開催しています。「患者や職員との接し方が変わった」、「職場の雰囲気が良くなった」、「自分自身が楽になった」など研修後の感想は大変好評です。

また、当院緩和ケア認定看護師の長久栄子氏が大会長を務め、昨年9月富山市民プラザにおいてNPO法人対人援助・スピリチュアルケア研究会第10回学術研究大会を開催しました。大会テーマ「スピリチュアルケア（生きる意味への援助）は日常にある！」に関心を持たれた参加者が全国から225名もあり、満足度95%のアンケート結果で盛況でした。死に直面した人だけではなく、日頃から誰もが「自己の存在と意味の消滅から生じる苦痛（スピリチュアルペイン）」を体験していること、また、がん、認知症、精神疾患、高齢者虐待の加害者の苦しみ、応対する医療・介護福祉者の苦しみなどが、援助的コミュニケーションによりどのようにケアされたのか発表がありました。研修と学会を機会にスピリチュアルケアは特別な人が行う特別なことではない、日常の医療・福祉の現場で誰もができるケアであることを学び実践しています。今後は地域の医療・福祉現場の皆様にも、発信していきたいと思っています。



対人援助研修を受け、医師が発表

病診連携の会

当院では2ヶ月に1回、近隣の開業医の皆様にご参加いただき「病診連携の会」を開催しています。11月16日（木）には、下記の内容で行われました。

【症例】

80代 男性 発熱 北林クリニック …（内科・横山敏啓医師）
80代 男性 進行胃がん 尾島医院 ……………（外科・古谷正晴医師）
70代 男性 早期胃がん 小島医院 ……………（消化器内科・松村孝之医師）

責任者の真野鋭志医師（消化器センター長）よりコメントです。

「当院では2ヶ月に1回、病診連携の会を開催しています。病院と診療所との連携を図る会であり、地域の医療の全体を向上させる目的で行われます。始まりは平成一桁のクリニック時代、松本医院の松本先生との勉強会に遡ります。今では多くの先生方にご参加いただき、ご紹介いただいた患者さんの症例検討をしています。質疑応答など活発な議論が行われ、最新医療の紹介もあり、参加者の今後の診療に役立てればと思っています。今後ますます発展させていきたいと思っています」



写真は9月に開催された病診連携の会

改善推進室の取り組み

改善推進室は、昨年度より設立された新しい部署です。医療の質の向上のために業務改善の推進を行います。業務改善の目的は「患者の幸せ・職員の幸せ・病院の幸せ」です。患者の幸せとは満足した医療を受けられること、職員の幸せとはいきいきと働けること、病院の幸せとは理念である「自利利他の精神に基づいた安心・満足の医療」を実現することです。

業務改善のことをわかりやすく説明した「木こりのジレンマ」という例え話があります。

ある木こりが、頑張って木を切っている。通りがかった旅人がその様子を眺めていたが、斧を振るう勢いのわりに、なかなか木が切れていない。見ると木こりの使っている斧が刃こぼれしているようなので、旅人は言った。「斧を研いだほうがいいのでは？」すると、木こりは言った。「わかっちゃいるんだけどね、木を切るのに忙しくて、それどころじゃないよ」

目の前の作業をこなすのに精一杯で、それを効率良く進めるように工夫する余裕がない様子を表した話です。病院は多忙な職場です。多忙が故に、目の前の業務をこなすのに精一杯になっていないか、「斧を研ぐこと」を忘れていないかを考えなければなりません。業務改善は職員一人一人が当事者意識をもって、それぞれの立場で何が出来るかを考えて実践することが大切です。業務改善が活発に行われるように、業務改善の推進に取り組んでまいります。



各部署が業務改善を行い、発表するQC大会を開催しました

部署紹介：あやめ病棟

医長：植田芳樹、 師長：楠 早苗

あやめ病棟は、眼科の外来・入院・手術までをトータルでサポートするアイセンターの病棟として、2009年に開設されました。眼科専門病棟であるため眼科に特化したケアを行えること、またアイセンター機能により、外来、手術室との連携がとりやすいという特徴があります。

眼科には、網膜剥離、急性緑内障発作、眼内炎など緊急に手術を行わなければならない疾患も多く、外来受診から入院、手術までを最短で案内できることがあやめ病棟の強みです。また、生活の中で目が担っていることは多く、「見えない」ことへの不安は大変大きいものです。その不安を上手く表現できず悩んでいる患者さんへ、思いに寄り添った看護ができるよう、知識の習得、ケアの実践に努力しています。そして、見えるようになったときの患者さんの喜びは大変大きく、「見えるようになって本当にうれしい」、「本当によくしていただいた」などの言葉は、あやめ病棟ならではのやりがいであり、励みとなっています。また、小児や高齢者にも分かりやすいように、疾患別にクリニカルパスや点眼指導用紙を使用するなどの工夫も行っています。

アイセンターでは、「当院で治療を受けたいという方は絶対に断らない」という思いのもとに、診療を行っています。そのため、あやめ病棟は18床という少ない病床数ながら、スタッフが一致団結し、患者さんや他病棟の協力も得ながら、どんな緊急患者にも対応しています。その結果、2016年度は1800件以上の入院患者さんの、周術期や薬物療法のケアを行いました。射水市はもちろんのこと、県内各地や岐阜、新潟、石川などの県外からも、当院で治療を希望し入院される方もあります。

最近では、真生会富山病院全体で中国との連携を深めていることから、中国から手術目的に来院される方もあります。そのような方にも対応できるよう、中国語の通訳スタッフが院内におり、病棟には中国語の説明用紙を用意しています。

これからは医療情勢の変化を見据えて、99床のベッドを効率よく運営するために、アイセンター機能を維持しながら他科疾患も受け入れていく予定です。18床のあやめ病棟で眼科と他科が上手く融合できる環境をつくり、患者さんに安心、安全な看護を今後も提供できるよう、スタッフ一同努力していききたいと思います。



多職種が連携しています

射水市糖尿病 Day2017 に出演

11月3日（金・祝）に高周波文化ホールで行われた「射水市糖尿病 Day2017」に、今年も当院スタッフによる劇団、「TIPS(チップス)」が出演しました。富山福祉短期大学の学生さんと一緒に作り上げる「糖尿病劇場」は毎年恒例の企画で、今年は「糖尿病における足・口腔のトラブル」がテーマでした。富山県の中でも糖尿病患者の多い射水市において、近隣の医療・福祉関係の皆さまと力を合わせて今後も取り組んでまいりたいと思います。



劇を通じて口腔ケアの大切さを訴えました。

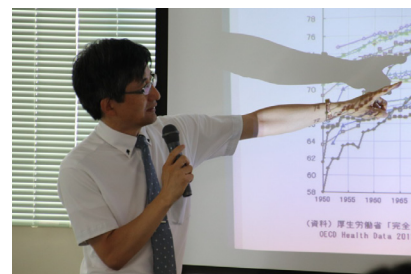
出張講座のご案内

真生会富山病院では、地域の皆さまとの交流、健康づくりのお手伝いの一助として、「出張講座」を開催しております。「脳梗塞の治療と予防」、「いつまでも若々しくある方法」など、多彩なテーマで多職種の職員が講師を務めています。皆さまが知りたい、聞きたい、体験したい講座を選び、都合の良い日時をセッティングして開催いたします。皆さまの疑問にもお答えする「コミュニケーション」を大切にしたい講座を心がけています。地域で行われる集会や、団体の会議、学校の授業、学校行事などにぜひ「出張講座」をご活用ください。

お問い合わせ：0766－52－1556（受付時間9時～17時）

＊出張講座テーマ一覧（テーマ／講師／可能な日時）＊

- 1, 心を楽にするコツ、2, 生活習慣の基本、3, 健康な食生活、4, 運動について／清水和彦（内科医師）／金曜夕方
- 5, 脳梗塞の治療と予防、6, 特定健診とガン検診／豊田茂郎（内科医師）／水・木・金曜午後
- 7, いつまでも若々しくある方法／刀塚俊起（内科医師）／月曜・水曜夕方
- 8, 出産前からできる3つのこと、9, 乳幼児の予防接種、10, 今ドキの小児科、11, おまかせ／吉崎達郎（小児科医師）／火・水・木・土曜午後
- 12, 糖尿病でも一生よい視力を保つために、13, 緑内障で失明しないために、14, 加齢でおこる目の病気、15, 白内障といわれたら／館奈保子（眼科医師）／火曜 18 時以降、金曜 13 時以降
- 16, 知って安心在宅介護～自分らしく在宅療養生活を送るために～／訪問看護ステーションこころ（看護師、理学療法士）／月～金 10 時～15 時※相談に応じます
- 17, ベビーマッサージ／釣美晴（看護師）／火曜・木曜午後
- 18, 高血圧について／内科医師／相談に応じます
- 19, 糖尿病の最前線／内科医師／相談に応じます
- 20, 肺炎の予防について／呼吸器内科医師／相談に応じます
- 21, ピロリ菌について／消化器内科医師／相談に応じます
- 22, 肝臓病のはなし／消化器内科医師／相談に応じます
- 23, 放射線の被ばくについて／診療放射線技師／相談に応じます
- 24, 正しい薬の使い方／薬剤師／相談に応じます
- 25, 知って得する検査のはなし／臨床検査技師／相談に応じます
- 26, 日常にひそむ肩こりのタネ／マッサージ師／相談に応じます
- 27, 熱中症対策のウソ・ホント／内科医師／相談に応じます
- 28, 糖尿病と言われたら？／看護師／相談に応じます
- 29, やさしい太極拳一足腰を強くしよう／内科医師／相談に応じます
- 30, メタボリックシンドローム／看護師／相談に応じます
- 31, CT と MRI ってどう違うの？／診療放射線技師／相談に応じます
- 32, 簡単なリラックス法を体験しようー日常にいかす自律訓練法ー／臨床心理士／相談に応じます
- 33, インフルエンザにかかる前に／感染管理認定看護師／相談に応じます
- 34, 目のふしぎ～視力ってなに？～／視能訓練士／相談に応じます
- 35, 気管支喘息にご注意／呼吸器内科医師／相談に応じます
- 36, 骨粗鬆症の予防～体の芯から美しく～／内科医師／相談に応じます
- 37, 検査を知ろう／臨床検査技師／相談に応じます
- 38, 糖尿病の運動療法／日本糖尿病療養指導士／相談に応じます
- 39, 糖尿病治療を放置しないで！／内科医師／相談に応じます
- 40, しっかり対策。感染性胃腸炎／感染管理認定看護師／相談に応じます



「いつまでも若々しくある方法」

刀塚俊起副院長（内科医師）

9月8日開催